

北急延伸の開業目標を見直しました

～新駅周辺のまちづくりは着実に進んでいます～

箕面市では、令和2年度の開業をめざし、北大阪急行線の延伸事業を進めてきましたが、「用地交渉が長期化した」「撤去の必要な地中構造物が発見された」などの事情により、開業目標を3年延期し、令和5年度に見直しました。

新たな開業目標に向けて、引き続き安全確保と周辺環境へ十分配慮しながら、最大限の努力を行ってまいりますので、市民のみなさまのご理解とご協力をお願いします。

なお、新しくできる「箕面船場阪大前駅」「箕面萱野駅」の周辺まちづくりは、着実に進んでいます。その計画について、一部をご紹介します。

北急延伸の開業目標

当初の令和2年度から、令和5年度に見直しました。
 なお、この見直しに伴う総事業費の変更はありません。

開業目標の見直し理由

- 用地交渉が長期化したこと
- 昔の新御堂筋(国道423号)で使われていたとみられる、全長150mの「コンクリート擁壁」が地下から見付き、撤去作業が必要になったこと
- 千里中央駅の建設当時に設置された「土留め壁(土砂が崩れないように設置された鋼材を使用した壁)」が地下から見付き、撤去作業が必要になったこと



新しくできる2つの駅の周辺まちづくりは、着実に進んでいます!

当初予定の
令和3年春
オープン予定

箕面船場阪大前駅

新たな「文化とビジネス拠点」として、駅周辺のまちづくりを進めています。



地上6階、地下1階の複合公共施設

文化ホール、図書館、生涯学習センター、駐車場が一体となった複合公共施設は、当初の予定通り今年度から着工し、令和3年春のオープンを予定しています。

新駅開業に合わせ
令和5年度オープン予定

駅北側出入口

新船場北橋の東側に出入口ができます。

箕面船場阪大前

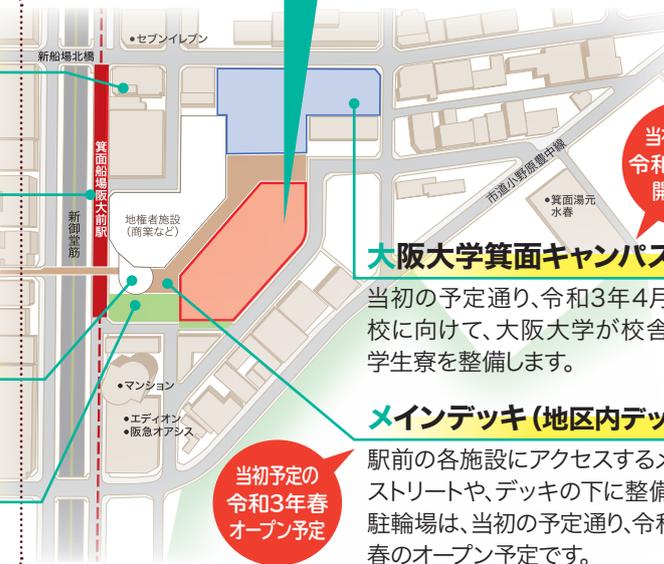
地下駅で、地下3階がプラットフォームです。また、駅舎には、機械式の駐輪場を整備します。

駅南側メイン出入口

歩行者デッキに接続し、船場の玄関口となります。

駅前広場

駅前広場は、気軽にイベントにも利用できます。



当初予定の
令和3年4月
開校予定

大阪大学箕面キャンパス

当初の予定通り、令和3年4月の開校に向けて、大阪大学が校舎及び学生寮を整備します。

メインデッキ(地区内デッキ)

駅前の各施設にアクセスするメインストリートや、デッキの下に整備する駐輪場は、当初の予定通り、令和3年春のオープン予定です。

当初予定の
令和3年春
オープン予定

6・5階 生涯学習センター



4・3・1階 文化ホール

大ホール(1401席)
小ホール(300席)



図書館



地下1階 駐車場

普通車116台
自動二輪車86台

箕面萱野駅

駅舎は2階建てで、2階がプラットフォームになり、「かやの中央」の賑わいの中に接続します。

駅前のバスターミナル、タクシー乗り場、地下駐輪場、駅ビル(民間商業施設)などは、全て令和5年度の新駅開業に合わせて開業し、ターミナル駅としての機能を備えます。



開業目標の見直しについて詳しくは……鉄道延伸室(☎724・6907)へお電話ください。
 新駅周辺のまちづくりについて詳しくは…北急まちづくり推進室(☎724・6744)へお電話ください。